



振花(ネジバナ)

- ▶ ぎふ技術革新センターの設置機器搬入開始
- ▶ ぎふ技術革新センター運営協議会の設立総会を開催
- ▶ 新規導入設備のご案内(財団法人JKA 競輪補助事業)

ぎふ技術革新センターの設置機器搬入開始

ぎふ技術革新センターの機器搬入が2月中旬より開始しました。大型機器(3次元測定機、5軸NC加工機、振動試験機など)はフォークリフトや大型クレーンなどの重機を利用した搬入が行われ、全ての機器搬入は3月末に完了します。搬入後は開所式までの間に担当職員が使用方法のトレーニングを受けて、依頼試験や開放試験機器の運用開始に備えます。なお、現在中断している依頼試験・開放試験については工事完了後に機器の移設及び動作確認を実施して随時再開します。詳細な再開時期に関しては研究所までご連絡下さい。皆様にはご不便をおかけして申し訳ありませんが、ご理解とご協力をお願い致します。



ぎふ技術革新センター運営協議会の設立総会を開催

ぎふ技術革新センター運営協議会の設立総会が3月14日(月)に「県民文化ホール未来会館」で開催されました。設立総会では設立趣旨、会則、事業計画、収支予算等の説明が行われ、総会終了後にはトヨタ自動車(株)有機材料技術部の河村信也(かわむら のぶや)氏による「レクサスLFAのCFRPキャビン開発」の記念講演が行われました。講演ではCFRPキャビン開発の目的や加工技術について発表が行われ、参加者は熱心に聴講されました。また、ぎふ技術革新センターに導入した5軸NC加工機、振動試験機、分析機器(高分解能走査電子顕微鏡複合装置、フィールドエミッション電子プローブマイクロアナライザ、発光分析装置、赤外分光光度計)について各メーカーから紹介が行われました。





炭素・硫黄測定装置(株式会社堀場製作所製、EMIA-320V2型)

鉄鋼、非鉄金属、合金鋼、特殊金属、鋼石無機物などに含まれる炭素・硫黄を同時に分析する装置です。高周波誘導加熱炉方式で JIS の分析規格をはじめ、ISO の分析規格にも適合しています。分析目的に応じた適切な温度コントロールにより、各種サンプルの高精度分析が可能です。



< 仕様 >

- 分析原理：酸素気流中高周波加熱燃焼-赤外線吸収法
- 分析範囲：炭素:0~6%(m/m)、硫黄:0~1%(m/m)
- 試料質量：標準1.0g
- 分析精度(再現性)：炭素： $\sigma_{n-1} \leq 0.0002\%(m/m)$ または $CV \leq 1.0\%$
硫黄： $\sigma_{n-1} \leq 0.0002\%(m/m)$ または $CV \leq 1.5\%$
- 感度(最小読取)：0.000001%(m/m) (0.01 ppm)

電気試験機器一式



AC・DC 耐電圧・絶縁抵抗試験機
(菊水電子工業株式会社製 TOS9201 型)

被試験体に交流や直流の高電圧を印加した時に流れる電流を計測し、被試験体の絶縁性を判断する試験及び、高電圧印加時における絶縁体の抵抗値を計測する試験を行います。



デジタル・マルチメータ
(岩通計測株式会社製 VOAC7523 型)

高い精度及び高い桁表示で、交流・直流電圧、交流・直流電流、抵抗、周波数等を計測します。



リーケージカレントテスタ
(菊水電子工業株式会社製 TOS3200 型)

接触電流及び保護導体電流を測定する試験装置。接触電流測定は、被試験電気機器の可触部(筐体等)とアース線を含む電源ライン間に流れる接触電流を人体模擬抵抗を通して計測します。保護導体電流測定はアース線に流れる電流を測定します。



低抵抗率計
(株式会社三菱アナリテック製 GP MCP-T610 型)

$10^{-3} \Omega \sim 10^7 \Omega$ 程度の導体から半導体を対象とし、4端子4探針方式による測定プローブを用い、定電流印加法にて被試験体の表面抵抗率、体積抵抗率を測定します。



パワーアナライザ
(横河電機株式会社製 TOS3200 型)

電気機器の有効電力、無効電力、皮相電力、力率、位相角等を測定します。



高抵抗率計
(株式会社三菱アナリテック製 UP MCP-HT450 型)

$10^4 \Omega \sim 10^{13} \Omega$ 程度の半導体から絶縁体を対象とし、2重リング方式による測定プローブを用い、定電圧印加法にて被試験体の表面抵抗率、体積抵抗率を測定します。